

AIに触れる体験授業

6月18日に1年生全員を対象としたAI（人工知能）に関する講演会を開催しました。マイクロソフトディベロップメント(株)の中吉寛さんをお招きして、AIの説明を受けながらタブレットやスマホを使って実際に「AIりんな」と会話をするなどの体験をしました。



AIに対する印象について、「人間を支配しそう」と考えている生徒が最も多く、**不安を抱いている**ようでした。講演の中でも、先進国の中で、将来AIに携わる仕事がしたい希望する人の割合が日本はとても低いとのこと。

講演を通じて生徒は、AIをただ知らないからと恐れるのではなく、**AIの特徴をうまく活用できる人間になる**ことが求められていることに気付かされているようでした。

今後の課題解決型学習などでのAI活用を考えてみるのも面白そうだと思います。

1年生、CMづくりに悪戦苦闘！？

1年生の総合的な探究の時間では現在、「松江東高校のCMを作ろう」と題して、4～5名の班ごとに**東高の魅力を発信するCM制作**に取り組んでいます。CM制作では、「だれに（ターゲット）」「何を（魅力）」「どうやって伝えるか（手法）」を徹底的に考えるように授業を組み立てています。

しかし、どうしても動画の見栄えにこだわってしまうチームが多く、ターゲットや魅力が置き去りにされがちです。「それって本

当に魅力なの？」「それで本当にターゲットに刺さるの？」と聞くと、言葉を濁すチームも少なくありません。

また、**チームのために自分がすべき役割**を果たしていないメンバーが多い班に至っては、期限までに完成できるのか！？といった状況です。チームで目指すゴールを明確にし、それに向かって各自が役割を果たす、まさにチームワークが試されています。

固定概念を覆し、発想の幅を広げる

2年生は、自分たちが撮ってきた**松江のおススメスポット**写真にキャッチコピーを付けるワークを行いました。

当初、生徒が付けたキャッチコピーは**写真の説明**に留まっているものが大半でした。

そこで、キャッチコピーを伏せた状態の一般的なポスター見せ、どんなキャッチコピーが入るかを考えてもらいました。そこでもありきたりなフレーズを考えるチームが多かったのですが、正解を見せると、「そんなにふ

ざけたフレーズでもいいのか！」と気づきを得たようでした。

特に印象的だったのは、キューピー山とも呼ばれる嵩山と和久羅山の写真に、当初は写真の色味から「**BLUE**」とキャッチコピーを付けていた班が、上記のワークの結果「**キューピー、料理に飽きました**」と付け直しており、固定概念の殻を一つ破ったなと嬉しく感じました。



発行者

魅力化コンソーシアムマネージャー
福井 香衣（ふくい かね）



先日、初めて東高校の食堂を利用しました。普段なかなか触れ合えない事務のみなさんと交流できて楽しいランチでした！